

# 大型事業が続くが市の財政状況は

井星 喜文 議員

**答** 経常的経費が増加しており歳出削減に努めている

**問** 市は臨時財政対策債頼みの財政ではないか。  
**企画財政課長** 臨時財政は本来地方交付税として交付すべきものを代替財源として地方債を起債して埋め合わせる制度である。従って、元利金相当額は全額国が補てんする。  
**問** 市の借金でも国が補てんするなら純然たる市の借金ではないといえる。平成25年度末の市債残高には算入されているか。



無償貸与する球場等建設予定地

**企画財政課長**

一般会計市債残高約135億円のうち約64億円が臨時財政。従って純然たる市の借金は71億円程度と考える事もできる。

**問** 臨時債を除くと経常収支比率がほぼ100%で財政に余裕がないことを示す。対策は。

**企画財政課長** 悪化原因は景気後退による歳入減少による。一方扶助費や下水道事業等への繰出金

など歳出の増加である。予算編成は需用費等物件費縮小を方針としており、職員間にも定着している。

**まちづくりは待ったなし**

**問** 校区コミュニティ検討作業の進捗状況は。

**地域支援課長** 全行政区、コミュニティ協議会及び県内25市を調査中で年度内にはその分析まで終了し方向性をつけたい。

## 満足度が低い公共交通バス対策は

矢加部 茂晴 議員

**問** 今年のまちづくりアクションシートでは「公共交通バス」と「市内のバス路線数」が「現在の満足度が低く今後の重要度は高い」項目となっている。

**市長** 今年の結果は、今回だけのことではないと承知している。満足度を上げるためには、路線バ

スの利便性が低い地域への対策が課題である。

**商工観光課長**

市ではコミュニティ自動車貸与事業を推進している。この事業は、バス交通に対する不満を一定抑えてくれているという分析もしている。

**答** コミュニティバス導入が進めば満足度は高まる

対する満足度は高まると考えている。

**コミュニティバスを走らせるだけが目的ではない**

**問** 多くの高齢者の方々が、コミュニティバスを利用し外出頻度が上がることで健康を維持されていると思う。この事業を健康づくりの観点から評価することも必要だ。

**商工観光課長**

昨年12月施行の交通政策基本法を見ると、交通は国民の自立した日常生活及び社会生活の確保などの機能を有するもので、そういう視点に立った事業を行い、施策を講じなければならぬとある。今後はこれまで以上に市民の社会生活を保障していく視点が大事になると思う。



筑後船小屋駅に停車中の久留米船小屋線の路線バス